

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市旭ヶ丘児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 28,165人(前年度比 118.8%) 令和4年度 23,713人 令和3年度 20,666人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 55,466千円 (46,152千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。 なお、児童館児童クラブサテライトの避難訓練等の実施回数が、放課後児童クラブ運営指針で定められている回数(年2回以上)を満たさなかった。	29/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、子育て支援クラブをはじめとする地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター）による自己評価》
<p>令和5年度は、コロナ禍の制限が撤廃されたことで、地域により必要とされる児童館を目指し、地域諸団体等との繋がりを大切に事業の充実に努めた。</p> <p>(児童健全育成事業) 10月から小学生を対象にした「チャレンジ隊」などの行事がコロナ禍以前の状態と同じように、自由来館児童の参加ができるようになった。令和4年度に立ち上げた「ジュニアボランティア(アサヒガオカナイン)」も登録者を増やし、地域に貢献する活動を続けている。</p> <p>(子育て家庭支援事業) 年齢別や異年齢の通常行事に加え、親子で楽しむ「ベビーマッサージ」や「リトミック」、保護者を対象とした「食育セミナー」や「ちびっこまつり」、土曜日には普段は出していない大型遊具で遊べる「ちびっこファミリーデイ」、乳幼児親子対象の「スプリングコンサート」などを実施し、充実したプログラム運営を目指した。</p> <p>(地域交流推進事業) 10月には、「児童館まつり」を行った他、地域のお祭りである「旭ヶ丘まつり」や「旭ヶ丘市民センターまつり」にも参加し、地域交流の一端を担うことができた。また、12月には「クリスマスコンサート」を行い、たくさんの地域の方々楽しんでいただいた。</p> <p>(放課後児童健全育成事業) サテライトについては、運営2年目ということもあり、令和4年度の経験を踏まえながら、児童がより安全にかつ快適に過ごせるように職員会議等で何度も協議を重ねながら運営を行った。また、今年度も夏と冬にそれぞれ宿泊を伴うキャンプを実施することができた。4年目を迎えたこどもたちの発表の場である「あさひがおかチャンネル(あさちゃん)」は、出場者も増え、ダンスやコント、自作のクイズなどを発表し、児童の主体的な活動の場となっている。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、「チャレンジ隊」は制作や運動遊び、かるた大会等、子ども達が意欲的に参加できるような体験プログラムを提供している。様々な遊びを通して豊かな感性や主体性、自ら考える力を育てている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、年齢に合わせた体操や運動遊び、制作遊びなど、子どもの育ちを支えるために様々な遊びを提供している。「ホットカフェ」や「ホットタイム」など、保護者がリフレッシュできる大人向けの内容のイベントも定期的実施し、保護者同士の情報交換や仲間作りをするための交流の場になっている。また、栄養士や区の職員の協力を得て、子育て相談の機会を設定し、地域の関係者と連携を図りながら子育て家庭を支援している。</p> <p>地域交流推進事業においては、市民センター祭りや旭ヶ丘祭りなど、地域のお祭りに児童館として積極的に参加している。ジュニアボランティアによる祭りの準備やコーナー運営を行い、地域に向けて児童館事業の認知度向上に努めると共に、子どもが地域と関わりながら育つ環境作りに努めている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、子どもが安全かつ安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整えている。また、子どもの思いや意見を反映させる機会を多く設け、子どもの発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるように工夫している。</p>	A

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課